

『立命館百年史』資料第二巻 目次

凡 例

序 章

立命館の戦後処理／教育政策の転換と立命館学園／日本
国憲法・教育基本法の成立／「平和と民主主義」の教学
理念の内実化に向けて／全学協議会と総長公選制の確
立／大学「大衆化」段階に向けた教学改革と長期計画
化／「大学紛争」を全学の力で克服して／七〇年代にお
ける自主的民主的改革／世界的変動、そして八〇年代
以降の課題に向けて／本巻の全体構成について

第一章 戦後の再出発と「立命館民主主義」への模索

はじめに

敗戦の混乱を越えて／末川博学長の誕生／学生自
治活動の開始、教職員組合の結成／新制大学への
移行と末川総長辞任問題／新しい末川時代の始ま
りと改革の推進／レッドパージの嵐と創立五〇周
年記念／「緑の学園」構想論議と「二月原則」／
中学校・高等学校の再編

第二節 学園民主化と占領政策

一 敗戦直後の学園

「終戦の詔勅」／敗戦前夜の学園をとりまく状況／
復員・復学、授業再開／敗戦当時の学園体制―
中川から石原へ

- ・理事長辞任、理事会議長選任ノ件『資料一』七四二
一六八五頁に掲載
- ・財団法人立命館内規制定ノ件『資料一』七四四 一
六八九頁に掲載

七六一 昭和二十年度立命館専門学校入学案内

二 占領政策と学園改革の始動

占領政策の展開／「軍国主義・超国家主義ハ教育
制度ヨリ除去」／石原廣一郎「国内亡命」から帰
る／学園改革の始動／敗戦直後の改革構想／学園
改革基本方針

- ・学則改正ノ件(大学、専門学校 民主主義教育ヲ基
本ニ)『資料一』七四八 一六九九頁に掲載
- ・最高協議会廃止ノ件『資料一』七五一 一七二〇頁
に掲載
- ・学園改革基本方針『資料一』七五三 一七二一頁に
掲載
- ・寄附行為変更審議(終戦ニヨル全面改正)『資料一』
七五八 一七二六頁に掲載

・学園刷新要綱(教授会)『資料一』七五五 一七二三
頁に掲載

七六二 寄附行為改正認可申請ノ件(敗戦措置など)

・寄附行為変更(総長規定、役員定数、督学、研究所
等改正)『資料一』六五四 一三七九頁に掲載
・寄附行為変更(終戦ニヨル全面改正)『資料一』七五
九 一七二八頁に掲載

三 末川博学長の実現

隠密裏の末川獲得工作／末川博と石原廣一郎／末
川博学長の誕生／末川博と立命館

七六三 学園改革基本方針決議、理事長・専務理事選任、学長
推挙等

七六四 立命館大学長就任認可願

七六五 新学長認可書

・末川学長招聘事情(抜粋)〔石原廣一郎〕『資料一』七
六〇 一七三四頁に掲載

四 学園新体制の発足と教職員組合の結成

石原・末川による人事刷新／教員適格審査法制／
立命館大学における適格審査／教職員組合の結成
と初期の活動／草創期の私立大学教職員組合結成
状況

七六六 学園全般の人事異動

七六七 教育裁判への輿論調査

七六八 立命館に職組結成(教職組連合)

七六九 学生、職組と利害対立

五 学生自治活動の開始と組織化―学友会の発足

敗戦直後の学生たち／敗戦直後の学園改革と立命
館学友会の発足／「四五年学友会」その限界と
期待／「学友会の態勢整ふ」／学生生活、学園経
営の危機／学生自治に向けての七項目提案・要
求／学園民主化の道程 真の学友会の誕生

七七〇 立命館学友会会則

七七一 京都学生聯盟を結成

七七二 京都学生同盟準備会

七七三 学友会自治の展開急速調

七七四 「黎明会」「怒涛会」を結成

七七五 私学民主化の魁 封建制打破を叫ぶ立大生

七七六 法経全学生大会 七項目提案通過

七七七 立大民主化いまだし

七七八 新学友会順調に諸方策推進

七七九 立命館大学一部学友会会則

七八〇 立命館大学二部学友会会則

七八一 立命館大学学友会中央委員会規約

第二節 高等教育改革と新制大学の出発

一 戦後教育改革と新制大学認可

高等教育改革の前奏(一) 日本側教育家委員会報告書／高等教育改革の前奏(二) 米国教育使節団報告／教育刷新委員会における論議／学校教育法の制定／「自主的」な大学(設置)基準づくり／新制大学の大学基準づくりと混乱／二、新制大学の四八年度発足と立命館大学／新制大学早期移行にまつわる問題点／大学再生と戦後京都の知識人・文化人

七八二 「学制改革委員会」設置に関する提起

七八三 学制改革について報告

七八四 新制立命館大学設置認可申請書

七八五 立命館大学設置認可書

七八六 立命館大学設置認可の条件と回答

七八七 新制立命館大学学則

七八八 理工学部増設認可申請書・要項

七八九 理工学部設置認可書

七九〇 理工学部設置に伴う改正学則

二 末川総長辞任問題と総長公選制

末川総長の辞任／末川辞任の真因と留任運動の活発化／拡充部問題と学生参加―全学協議会の創出／民主化のあゆみ 総長公選制へ／選挙規程の制定と総長選挙の実施／末川復帰の懇請活動

七九一 拡充後援会結成

七九二 学長制から総長制へ

七九三 拡充部設置と同規程

七九四 寄付行為改正要点(総長・理事会評議員会事項等)

七九五 末川総長辞表提出につきこれが受理に関する件

七九六 立命館大学総長を辞任するに当って(末川博)

七九七 拡充委員会解散

七九八 寄附行為(総長、理事会、評議員会事項等改正)

七九九 末川総長辞表提出要旨・総長選挙規程起草委員選定

八〇〇 末川総長辞任の真因を衝く

八〇一 総長選挙規程案について

八〇二 総長選挙規程

八〇三 末川復帰への懇請

三 末川総長の復帰と民主的改革の推進―全学協議会体制の模索

末川総長の復帰／民主的改革の推進／末川を囲む教員集団による民主化の始動／教職員による多数派形成と旧役員の忌避／「理事会並評議員会」の運営に関する規程／新しい末川時代のはじまり／教育復興の国民運動―総長とともにリーダーへ／「炎事件」を経て―全学協議会体制への模索

八〇四 寄附行為第一六条二項に基づく二五名の評議員会

八〇五 評議員会会長・副会長、理事・監事の互選

八〇六 理事会並評議員会の運営に関する規程

八〇七 末川博 総長に復帰、理事就任

八〇八 立命館総長就任開申について

四 授業料値上げ問題と学園民主化

戦後のインフレと苦境の学園／相次ぐ授業料値上げと反対運動のきざし／四八年授業料値上げとグラウンド問題／学生の要求と理事会の対応／学費値上げへの組織的抵抗／全学協議会の誕生学費の制度的整備／学園財政の課題と学園民主化

八〇九 教職員への対応と授業料増額

八一〇 関西四私大学長会議の授業料値上げ申合せ

八一一 またまた授業料値上 危ぶまれる私学財政の底

八一二 授業料、拡充費値上げ

八二三 学生の要求についての理事会議論

八二四 授業料減額、グラウンド問題についての要求書

八二五 文部省宛 建築計画調査報告

八二六 下半期の学費値上げについて(昭和三三年度)

八二七 授業料増徴の件

八二八 授業料貸付制度の発足

五 学園創立五〇周年

秋晴れの五〇周年記念式典／五〇周年記念事業／『立命館創立五十年史』／多彩な記念行事と記念論文集の発刊／朝鮮戦争の勃発 レッドバジの嵐／諸事件を克服し五〇年代の飛躍へ

八一九 五十年史編纂について

八二〇 五十年略史

第三節 戦後学園体制の基盤形成

一 新制移行当初の教学的基盤

旧制から新制への学制の変化／施設諸条件の厳しさ／新制移行当初の教員と科目編成

八二二 大学・専門学校学則改正認可申請書(戦後初の改正)

八二三 大学・専門学校学則(三学科の東亜の冠称廃止、国体学科改組に伴う学則改正)

八二四 専門学校分離ノ件

八二五 工学科問題並理学科移転問題

大学学則変更認可申請書(文学科一部設置、漢文科設置)

八二六 学制改革委員会設置・同規程

八二七 旧制 法・経・文三学部設置 申請書・認可書・学則)

八二八 理学科・工学科の新制大学昇格について

八二九 理工学部増設認可書

- 八三〇 立命館専門学校臨時別科規程
 八三一 立命館専門学校廃止(申請書・認可書)
 八三二 立命館短期大学認可申請書・設置要項
 八三三 短期大学設置認可書
 八三四 短期大学設置認可指令書等受領書
 八三五 短期大学学則
 八三六 短期大学廃止認可申請書
 八三七 旧大学令による立命館大学廃止認可申請書
- 二 研究所・大学院の設置
- 「立命館研究所」／「土曜講座」の開設／「立命館大学人文科学研究所」の発足／「理工学研究so」の設置／戦前の研究科(大学院と学位／戦後の大学院制度／新制立命館大学大学院の発足／大学院工学研究科の設置／大学院の総合的發展
- 八三八 寄附行為「研究所ヲ置ク」の条文
 八三九 立命館研究所時報1(発刊の辞・研究所運営方針)
 八四〇 寄附行為改正の理由(研究所改廃)
 八四一 立命館研究所規程(付内規)
 八四二 立命館大学人文科学研究所規程
 八四三 理工学研究so規定制定の件・同規定
 八四四 理工学研究soのあり方について
 八四五 新制大学院設置認可申請書・要項
 八四六 立命館大学大学院設置認可書
 八四七 新制大学院設置に伴う学則改正
 八四八 大学院研究科専攻増設認可申請書・要項(工学研究科等)
 八四九 大学院研究科専攻増設申請取り下げ
 八五〇 公法専攻、日本文学専攻、工学研究科設置認可
 八五一 立命館大学(新制)学位規程
 八五二 大学院学則(大学学則より分離制定)
 八五三 大学院委員会の構成に関する件
 八五四 大学院専攻増設要項(公法専攻博士課程)
 八五五 大学院専攻増設要項(地理学専攻博士課程)
 八五六 大学院夜間開講廃止について
 八五七 大学院経済学研究科専攻増設認可申請書
- 三 施設・キャンパス問題と学園財政
- 戦後の施設・キャンパス整備／「緑の学園」構想と論争の開始／学園初の特別委員会の設置とその意義／学費値上げ反対闘争 五二から五五年度へ／「新校舍建設に関する調査委員会」の報告書／「臨時調査委員会」と「五七全学協議会」の報告書
 原則／五〇年代の学園財政
- 八五八 理事会に於ける調査研究事項
 八五九 立命館大学復興委員会規約
 八六〇 学費値上げに対する学生の動き
 八六一 理事会懸案重要事項協議の件

- 八六二 学生収容計画、文学部校舎建設など
 八六三 新校舎建設に関する件
 八六四 学園拡充の問題に関する意見交換会開催御通知
 八六五 一九五五年度全学協議会確認(学費値上げに関する了解事項)
 八六六 新校舎建設に関する調査委員会報告書
 八六七 学園振興に関する調査委員会設置に関する件
 八六八 学園振興に関する調査委員会報告書
 八六九 一九五七年度全学協議会確認(一二月原則)
 八七〇 新校舎建設計画など

- 四 教職員組合運動の展開
- 五〇年前後の社会状況と組合運動／私学教職員組合運動の連帯／立命館教職員組合の組織／組合民主主義と職場の民主化／賃金闘争／民主主義と平和を守る運動

- 八七一 労働協約書(業務協議会規定を含む)
 八七二 立命館教職員組合規約
 八七三 立命館教職員組合連合規約
 八七四 『近畿私教報』創刊の言葉
 八七五 「メーデー事件」組合ニュース
 八七六 平和の会結成さる

- 五 学生自治活動・課外活動の展開
- 敗戦直後の学生運動と立命館／「全学連」と「私学連」／立命館学友会の動き／課外活動の展開

- 八七七 全京都学生同盟発足す
 八七八 関西私大自治連結成か
 八七九 立命館大学学生部規程
 八八〇 二部学術部機関誌 創刊にあたって
 八八一 学友会授業料問題経過報告
 八八二 推薦入学制度の廃止
 八八三 応援団の暴力事件に関する総長告示
 八八四 暴力事件に関する「応援団声明」

- 六 校友会の再建と発展
- 校友会の再建／再建に向けて―動きと人／校友会の新体制 緩やかな民主化／再建校友会の組織と活動／校友会再建と学園創立五〇周年／私学における卒業生組織／新寄附行為と卒業生組織／学園の発展と校友会／七〇年代に向けて

- 八八五 校友会再建全国大会決議録
 八八六 校友会会則(再建全国大会決定)
 八八七 『立命』創刊によせて 末川博
 八八八 校友会会則(一九五三年改正)

第四節 中学校・高等学校の再編

一 戦後における中等教育の再編

戦後教育再編の基本方向と教育二法／京都における戦後中等教育の再編／「新学制実施要綱」と「高校三原則」の実質化に向けて

二 戦後中等教育再編のなかの私学

困難な戦後私学中等教育の運営／教育基本法と私学中高連

三 北大路・神山二キャンパス時代の立命館中・高

立命館中・高の再編／発足当時の神山学舎／新学制下の学園生活／学園民主化の波

八八九 立命館工業学校設置並ニ立命館商業学校夜間部廃止申請書

八九〇 立命館工業学校廃止、立命館第四中学校に統合認可書

八九一 立命館中学校教育方針

八九二 有償制中学校開設開申

八九三 立命館中学校学則

八九四 新制中学校設置、四カ村と契約締結

八九五 立命館高等学校設置認可申請書

八九六 立命館神山高等学校設置認可申請書

八九七 立命館夜間高等学校設置認可申請書

八九八 立命館高等学校学則

八九九 立命館夜間高等学校学則

四 神山学舎の廃止

廃止にいたる経緯と要因／神山学舎廃止と教職員
の異動

九〇〇 教育奨励補助金交付申請

九〇一 北大路への統合、夜間高等学校の廃止等決議

九〇二 神山学舎廃止について

九〇三 神山学舎廃止と教職員の身分保障について

九〇四 立命館高中・神山統一成る

九〇五 立命館夜間高等学校、立命館神山高等学校及び同中学校廃止に関する認可申請書

九〇六 立命館神山高校・同中学校廃止に関して父母への挨拶状

九〇七 学園経営合理化措置についての御挨拶

九〇八 神山中学校生徒委託契約解除の件（京都市教育長宛文書）

九〇九 教育事務の委託解除について（京都市教育委員会）
九一〇 立命館高等学校学則（夜間高等学校・神山高等学校廃止、立命館高等学校合併に伴う改正）

五 定時制の変遷

定時制の全盛時代／生徒数の減少／生徒層の変化

と募集停止／定時制の閉校

九一一 定時制存続委員会ピラ

九一二 立命館高等学校定時制課程廃止の件

九一三 立命館高等学校学則（定時制課程廃止に伴う改正）

第二章 「立命館民主主義」の創成と学園の整備

はじめに

教学体制充実の模索から計画的整備へ／高度経済成長と日本社会の構造変化／大学の「大衆化」段階と高等教育政策／教学体制の基本的整備への模索／全学協体制の実質化／六〇年「安保闘争」と学園創造の新たな展開／計画的な学園づくりへ／社会構造の変化と教学改革／経営学部と産業社会学部の新設／六〇年代の達成と「大学紛争」の試練／中学校・高等学校の体制整備

第一節 教学体制の基本的整備に向けて

一 教授会、大学協議会の実質化と学部長理事制

新制大学における教授会の発足／講師会から教授会へ／学部に山積する課題／教授会民主化の原動力／学部三役の整備／学部と学部をつなぎ合う課題／大学協議会の発足／大学協議会における審議／六〇年代へ残された課題／学部長理事制／「学内理事会」の確立に向けて

九一四 理事会への部長の出席

九一五 寄附行為（専任教員の理事）

九一六 寄附行為改正理由

九一七 常務理事（会）設置の件

九一八 理事会の運営について（担当委員選任）

九一九 大学協議会了解・決定事項

九二〇 補導会議・学生主事の設置

九二一 補導会議規程

九二二 寄附行為（学校法人へ組織変更）

九二三 学部長理事制の確立

九二四 大学協議会運営要項

九二五 教務会議規定

九二六 大学協議会規定

九二七 「理事会」と「学内理事」の関係

九二八 寄附行為（役員・評議員定数、理事選任の改正）

九二九 寄附行為変更の条項及び事由（常務理事制）

九三〇 教学対策会議設置

九三一 常務理事制発足す

九三二 寄附行為（役員・評議員定数改正）

二 職員体制充実への取組み

「財団法人立命館館則」の制定と改正／「学校法人立命館館則」の制定／三部制(学部、総務部、財務部)の確立／職員採用制度の確立と人事異動の原則／課長会議の発足／新たな「職員像」に向けて

九三三 財団法人立命館館則(内規を館則に改正)

九三四 館則改正(機構、職員の整備等全面改正)

九三五 館則改正(新事務局設置)

九三六 学校法人へ組織変更認可書

九三七 館則改正(学校法人へ改組、法人業務と大学業務の分離)

九三八 職員任用試験要綱

九三九 教学部長の設置

九四〇 館則改正の理由

九四一 館則改正(再び法人業務と大学業務の統一)

九四二 課長会議規定について

三 入学制度の基本的整備

敗戦までの入学制度／学部まかせの新制初期／初期の志願者数・入学者数／入試手当問題／入学試験連絡協議会・入学試験委員会／全学統一入試の発足／大学進学志望の上げ潮にこたえて／推薦入学制度・奨学生選抜制度

九四三 奨学生選抜制度について

九四四 推薦入試内申要領

九四五 推薦入試制度の変更・継続

九四六 試験問題印刷の申合せ

九四七 推薦入試制度廃止

九四八 入試委員会設置

九四九 体育会推薦入試制度廃止

九五〇 入学願書受付事務の統一取扱について

九五一 二次試験廃止について

九五二 入試業務の統一

九五三 入学試験委員会の改組について

九五四 入学試験委員会規定

九五五 奨学生選抜制度廃止

四 研究条件・体制の整備

新制大学における教育と研究／教職員スタッフの充実／新制初期の助手職の実情／助手制度の整備／大学院特別研究生制度／蘇った学術研究——学会と学術誌、研究施設／図書館の充実

九五六 立命館大学図書館規程

九五七 大学院特別研究生制度

九五八 立命館大学大学院特別研究生規程

九五九 教室助手規程

九六〇 助手制度の改善策について

九六一 立命館大学教学日書

九六二 特別研究生制度の廃止

五 「全学協」体制の実質化

全学協議会の誕生と学生参加／全学協議会の概要と機能の限界／学生組織の整備と運動の高揚／学園復興委員会の設置とその意義／学部五者会談、学園復興懇談会——「全学協」体制の整備

九六三 授業料値上げと参議会『立命館大学新聞』論説

九六四 全学協議会について

九六五 学生の理事会出席

九六六 全学協議会会則

九六七 復興委員会の設置

九六八 復興委員会などに対する学生の意見

九六九 法学部五者会談

九七〇 各学部五者会談について

九七一 学園復興懇談会規定

九七二 学園復興懇談会の組織・構成について

六 教職員組合運動の発展

給与体系の確立／私学共済への加入と福利厚生／六〇年「安保闘争」と平和、民主主義擁護の運動／教研活動

九七三 職員給与規程の整備

九七四 職員給与規程

九七五 組合夏季研究集会給与体系討議資料

九七六 調査委員会の給与体系案と小委員会設置

九七七 給与体系案批判

九七八 体系闘争の見通しに関する執行委統一見解

九七九 給与体系実施案要項

九八〇 体系実施案の本質をみぬこう

九八一 給与体系第二次実施案(理事会案)出さる

九八二 安保改定国会強行採決にたいする「声明」

九八三 単一健康保険組合設立に関する件

九八四 立命館健康保険組合設立認可申請書・認可書

九八五 立命館健康保険組合規約

九八六 私学共済加入にあたって

七 学生自治活動と諸団体の動向

五〇年代学生運動の動き／立命館における動きとその特徴／六〇年「安保闘争」／学内共闘／「学園復興運動」／「大学解体論」への傾斜／学友会執行部の交替／課外活動／立命館大学学生層の特徴／六〇年代半ばの学生意識(アンケート調査)

九八七 — 討議資料——学園復興ニュース

九八八 新安保批准阻止に関する共同アピール

- 九八九 二部学友会平民学連派主導権握る
- 九九〇 学園振興闘争資料 立命館学園の現状―当面する運動課題のために―
- 九九一 現状を直視し立命戦線を強化せよ
- 九九二 理事会の拡大政策を阻止し 学園の発展・大学革新を推進しよう
- 九九三 「不戦の集い」を全学共闘で成功させよう
- 九九四 立命館大学課外体育規定
- 九九五 女子部はどうしてつくられたか

第二節 計画的な学園づくりの出發

- 一 臨時調査委員会の活動とその成果
 - 長期的展望に立った計画に向けて／「改組後」臨調」の誕生―その構成と課題／「臨調」答申の意義／「臨調」答申の概要

- 九九六 学園振興に関する臨時調査委員会改組
- 九九七 学園振興に関する臨時調査委員会（改組後）答申書
- 九九八 新学部設置の準備に関する件

二 「新五カ年計画」と「新二月原則」、創立六〇周年

- 学園復興期から振興期への発展／六〇年「安保闘争」そして学園振興／「新五カ年計画」の提起／「新五カ年計画」の討議／「新二月原則」の意義と到達点／学園創立六〇周年―長期計画の確立へ

- 九九九 学園振興で論議 全学協
- 一〇〇〇 徹宵で延々十六時間 ことし初の全学協
- 一〇〇一 新五カ年計画について
- 一〇〇二 学費問題 理事者側の回答
- 一〇〇三 一九六〇年度全学協議会確認（新二月原則）
- 一〇〇四 企画委員会規定
- 一〇〇五 企画委員会の性格と構成
- 一〇〇六 六十周年記念行事委員会設置
- 一〇〇七 新生生歌「かがやける明日をのぞみて」

三 第一次二部改革―「勤労者のための大学教育」

- 臨調「二部対策」答申／企画委員会「二学部三学科」案をめぐる議論／「二部対策要綱」の決定／「二部対策要綱」に基づく改革の実施／理工学部基礎工学科への改組

- 一〇〇八 二部運営対策委員会設置
- 一〇〇九 二部廻し全廃を確認
- 一〇一〇 二部問題についての中間的美態報告
- 一〇一一 一学部案による開講科目編成案
- 一〇一二 二部対策に関する大学協議会方針

- 一〇一三 二部対策要綱
- 一〇一四 二部協議会準備委員会発足
- 一〇一五 二部協議会準備委員会運営要綱
- 一〇一六 文学部人文学科増設協議書
- 一〇一七 二部事務局編成要領
- 一〇一八 二部協議会規定
- 一〇一九 理工学部基礎工学科増設協議書

四 厚生援助政策と生活協同組合の発足

- 学制改革による学生数の急増／学生生活の変化と厚生課「三大業務」／奨学金政策の進展／学生アルバイトの恒常化と紹介業務／下宿不足と斡旋業務／学生・教職員の健康管理／生活協同組合の位置と役割／生活協同組合の設立とその前史／不祥事件と生協運動の後退／生協設立運動の継承と再頓挫／厚生施設の拡充 生協の設立へ／生協の発展 その位置と役割

- 一〇二〇 授業料減免制の件
- 一〇二一 授業料貸与規程
- 一〇二二 学友会の経営事業について
- 一〇二三 学資貸与規程
- 一〇二四 厚生事業の委託について
- 一〇二五 医務室規程可決
- 一〇二六 立命館大学・高等学校及び中学校医務室に関する規程
- 一〇二七 診療所開設について・同規程案
- 一〇二八 「生活協同組合」結成について」発刊にあたって
- 一〇二九 生協組結成全学的に取りくむ
- 一〇三〇 生協、正式に発足
- 一〇三一 学校法人と生活協同組合の契約書

五 第一次長期計画―教学と財政の統一

- 「学園振興基本要綱」の誕生／学部移転、学園規模、新学部増設、財政の基本／「第一次長期計画」の財政計画／経常・建設勘定の区分／「第一次長期計画」の財政のまとめ／六〇年代から七〇年代へ

- 一〇三二 企画委員会への諮問
- 一〇三三 教学、財政の現状とその対策について
- 一〇三四 教学、財政の現状とその対策に関する件（継続）
- 一〇三五 学園振興基本要綱
- 一〇三六 長期計画に関する件
- 一〇三七 財政に関する説明メモ
- 一〇三八 一九六三年度全学協議会確認
- 一〇三九 創立七拾周年記念事業資金募集趣意書

第三節 社会構造の変化と教学改革

一 大学教育論の深化と教学改革——「現代化・総合化・共同化」

「現代化・総合化・共同化」／教学条件から教学内容へ／どんな人間を育てるか／大学の「大衆化」―施設と学生数の不断の膨張／「小集団教育」の確立／「小集団教育」の成果／教員と学生がつくる授業をめざして／七〇年代に向かつて

二 一般教育論の実質的展開と体制整備

第一次米国教育使節団報告における「普通教育」の重視／大学基準協会の「大学基準」と一般教育／一般教育の実施と問題状況／文部省「大学設置基準」の制定／立命館大学における一般教育の発足／全学協確認と一般教育問題／「一般教育センター」の設置と活動／「相互くさび型・たすきがけ」問題／「総合コース」の試み／一九七一年度の総合コース「日本の『近代化』／「特殊講義」の登場

一〇四〇 一般教育学科整備委員会設置について

一〇四一 一般教育委員会設置

一〇四二 一般教育の根本方針等

一〇四三 一般教育連絡協議会規定

一〇四四 一般教育の意義と内容にかんして(企画委員会中間報告)

一〇四五 一般教育研究センター規定

一〇四六 立命館大学一般教育会議規定

一〇四七 教学改善にかんする調査委員会報告と教授会における審議の概要(経済学部)

一〇四八 昭和四一年度に対する教学の改善

一〇四九 一般教育研究センター規定改正

一〇五〇 立命館大学における一般教育の現状と課題(まえがき)

一〇五一 一般教育の改善について

三 外国語教育・保健体育教育および教職課程

(一) 「外国語科連絡協議会」と外国語教育

新制大学への移行と外国語の履修方法／「二月原則」と「外国語科連絡協議会」の結成／一般教育改革との連動／外国語担当教員の充実／『外国文学研究』の創刊と研究活動／外国語共同研究室の開設／外連協運営委員会の発足と機能の拡大

(二) 保健体育教育

大学保健体育教育の始まり／教員体制と施設設備／六三年度全学協確認と保健体育教育の革新

(三) 教職課程

教員資格の経過措置／課程認定制度のできるま

で／認定講習会と「課程認定」／教職課程委員会と教職課程教室／京都地区大学教職課程協議会／教壇へ

一〇五二 外国語科連絡協議会運営要項

一〇五三 一般教育委員会の任務と組織に関する件

一〇五四 外国語科共同研究室設置の件

一〇五五 立命館大学外国語科連絡協議会規定

一〇五六 立命館大学における外国語教育の目的とその体制

一〇五七 外国語教育の意義と課題

一〇五八 暫定体育委員会設置

一〇五九 体育委員会運営要項

一〇六〇 立命館大学保健体育委員会規定

一〇六一 本学における保健体育教育の歴史的総括

一〇六二 保健体育教育の現状と課題

一〇六三 教職課程認定書

一〇六四 教職課程委員会編成の件

一〇六五 教職課程委員会運営要項

一〇六六 教職課程委員会規程

四 経営学部設置と経済・経営両学部の衣笠移転

商学部設置問題／経営学部の創設／経営学部の教学／経済・経営両学部の衣笠移転

一〇六七 商学部設置問題についての経済学部教授会討議

一〇六八 経済学部組織変更申請書・要項

一〇六九 商学部設置の方針

一〇七〇 新学部設置準備の凍結

一〇七一 新学部増設について

一〇七二 私学教学理念の在り方からみた新学部設置の意義

一〇七三 経営学部設置の方針について

一〇七四 新学部(経営学部)設置問題についてのまとめ

一〇七五 新学部開設申請決議

一〇七六 経営学部設置要項

一〇七七 経営学部設置認可書

一〇七八 経営学部第二部増設認可申請書

一〇七九 立命館大学学則(経営学部二部増設に伴う改正)

一〇八〇 学部(経済・経営学部)移転に関するまとめ

五 産業社会学部の創設

「教学、財政の現状とその対策について」／新学部の基準と企画委員会答申／「産業社会学部設置に関する調査委員会」報告／「経営学部設置についての総括」／産業社会学部の創設／教員組織と入学者数／「現代化・総合化・共同化」のユニークな実践／カリキュラム改革と全学的視点、二部問題／卒業生の進路

一〇八一 新学部(産業社会学部、経営管理学部)の構想にかんする答申

- 一〇八二 新学部設置に関する調査委員会設置
- 一〇八三 産業社会学部の設置について
- 一〇八四 新学部〔産業社会学部〕増設問題についてのまとめ
- 一〇八五 産業社会学部設置認可申請書・設置要項
- 一〇八六 産業社会学部設置認可書
- 一〇八七 産業社会学部における教学の現状と課題
- 一〇八八 産業社会学部二部問題メモ

六 「庶民の学園」の戦後の展開

―「教職協同」と社会的連帯、国際化にも向けて
「助講会」とその背景／「青年婦人部」と諸サークル／よみうりテレビ大学講座／国際交流の先駆け―ソ連科学アカデミーとの協定／幻の「ユーラシア大陸学術調査遠征隊」／そして常に「庶民の大学」

第四節 中学校・高等学校教学の振興

- 一 中・高教学と体制整備
中等教育をめぐる動き／立命館の中・高振興対策／施設の新築改修

- 一〇八九 立命館中学校高等学校の諸問題
- 一〇九〇 立命館中学校高等学校振興対策試案

- 二 高中審議会、総合研、生徒指導部の発足
高中審議会／総合研／「生徒指導部」と生徒の自主活動

- 一〇九一 立命館高等学校・中学校教学審議会規定
- 一〇九二 立命館高中の教育と大学進学について・一貫教育研究会組織要項案
- 一〇九三 総合学園教育研究会設置・研究会要項
- 一〇九四 新構想の学友会発足
- 一〇九五 学内協議会結成
- 一〇九六 補導部を生活指導部に改称

三 学内進学制度の改革

推薦制廃止と三科目入試／「恒久的な学内進学制度」への改革／五科目試験制度の問題点／その後の議論の展開／中・高・大一貫教育と学内進学制度問題

- 一〇九七 学内進学制度についての討議資料
- 一〇九八 学内進学五科目入試案承認
- 一〇九九 学内入試制度に関するまとめ
- 一一〇〇 大学と高・中校との教育的な関係について
- 一一〇一 立命館大学学内進学要綱

四 六六年企画委員会答申

一貫教育の内実化に向けて／「中・高の危機」をめぐる／大学との関係／教育体制への提言／教育実践に根ざした教育改革／中・高創立六〇周年／細野教授の校長就任

- 一一〇二 立命館高等学校・中学校のあり方についての答申
- 一一〇三 企画委員会答申〔高中校のあり方について〕に対する見解（案）

- 一一〇四 企画委員会答申の審議

第三章 「大学紛争」と立命館学園の課題

はじめに

高度経済成長のゆがみと「政治の季節」／「大衆社会」の形成と新たな社会運動／六〇年代末の世界的な「学生反乱」／日本の「学園闘争」と学生運動の分裂／「大学解体」と「暴力」への傾斜／立命館大学の「大学紛争」と「大学改革」／「暴力」を排し、全学的な論議と合意で「大学改革」へ

第一節 一九六〇年代後半の政治・社会状況と「大学問題」

- 一 大学の「大衆化」とその背景
高度経済成長と「教育投資論」／中央教育審議会答申と「大学問題」／大学の「大衆化」と日本の特徴／私学の根本矛盾と私立学校振興の方策／国民の高等教育要求と教育運動

二 六〇年代後半の世界と日本の学生運動

- ・世界的な「学生反乱」
高度成長と学生数の爆発的増大／欧米先進諸国の「大学紛争」／欧米における「大学紛争」と大学改革
- ・日本の学生運動
「六〇年安保」後の学生運動、全学連の分裂／全国的な「大学紛争」の勃発／「大学解体」と「暴力」への傾斜／日本の「大学紛争」と大学改革／政府や文部省の対応
- ・立命館大学の学生運動
全学協議会制度と「構造改革」／学友会と学部自治会の「民主化」／「全共闘」の登場

- 一一〇五 学園振興委員会ピラ
- 一一〇六 「大学革新」No.1
- 一一〇七 中央教育審議会の答申に反対する声明〔立命館大学〕

三 「大学紛争」と立命館における民主主義の到達段階——「大学改革のための討議資料」による問題提起

「大衆化」段階における大学と社会／全構成員自治の新たな実質化を目指して／旧いアカデミズムの克服と「現代化・総合化・共同化」／戦後立命館における教育展開の総括／私学危機の爆発・「大学紛争」と教学改革の課題／財政・管理運営問題の立ち遅れ

- 一一〇八 大学改革調査委員会等の設置に関する件
- 一一〇九 大学改革調査委員会初会合
- 一一一〇 大学改革調査委員会第二期活動開始
- 一一一一 第三期大学改革調査委員会発足
- 一一一二 第四期大学改革調査委員会発足
- 一一一三 第五期大学改革調査委員会委員の委嘱と諮問について

- 一一一四 大学改革のための討議資料〈その一〉
- 一一一五 大学改革のための討議資料〈その二〉
- 一一一六 大学改革のための討議資料〈その三〉
- 一一一七 大学改革のための討議資料〈その四〉

四 六七年「同和教育」問題

部落解放同盟からの「申し入れ」／大学の「告示・声明」と学生の動き／解放同盟の糾弾、大学の見解と学友会等による批判／立命館大学と部落問題研究所／部落差別の認識をめぐって——『大学教育と部落問題』の改訂／「同和教育」から「人権教育」へ

- 一一一八 部落解放同盟からの申し入れ書
- 一一一九 部落解放同盟からの申し入れ書への対応
- 一一二〇 部落解放同盟との話し合いの大学の態度
- 一一二一 「同和教育」担当者に関する産業社会学部教授会の見解

- 一一二二 一・二部部落研の公開質問状
- 一一二三 同和教育に関する件〔小委員会設置〕
- 一一二四 大学告示
- 一一二五 学生部長訴え
- 一一二六 各学部長、二部協委員長告示
- 一一二七 「同和教育の総括と今後の方向」について
- 一一二八 部落解放同盟中央執行委員長宛、末川書簡
- 一一二九 「同和教育」の専任教員担当
- 一一三〇 部落問題研究室の設置について
- 一一三一 部落問題小冊子編集委員会設置
- 一一三二 『大学教育と部落問題』第二次改訂方針
- 一一三三 「大学で学ぶことと人権」の発刊にあたって
- 一一三四 部落問題研究室的発展的改組
- 一一三五 「同和教育」の発展的廃止と「現代と人権」の設置

五 「総長選挙規程改正」問題の意義

大学自治が当面していた課題／「大学紛争」の萌芽と大学自治の動揺／総長選挙規程改正へ向けての論議／改正案要綱の全学討議と「大学紛争」による中斷

- 一一三六 総長選挙の四原則
- 一一三七 「総長選挙規程改正準備委員会」の設置について
- 一一三八 総長選挙規程改正準備委員会報告書
- 一一三九 総長選挙規程改正案起草委員会発足・起草委員会設置要綱
- 一一四〇 立命館大学における大学自治案
- 一一四一 総長選挙規程改正案要綱(案)
- 一一四二 大学自治に関する小委員会設置の件

第二節 立命館における「大学紛争」とその克服

一 「大学紛争」の経過

「大学紛争」への兆し／「新聞社事件」——「全共闘」の登場／学寮問題と寮連合／中川会館(本部棟)封鎖と「立命館二万人集会」／教員の辞任・辞職／封鎖解除なしに寮連合と交渉再開／「全共闘」との「大衆団交」へ／全立命館人の結集で入試実施／存心館封鎖と自主解除、中川会館の封鎖解除、恒心館の封鎖／暴力・破壊事件の頻発／学年末試験と卒業式／新年度を迎えた学園——入学式から開講へ／恒心館への強制捜査・封鎖解除、「わだつみ像」の破壊／紛争の克服と学園正常化へ／政府による大学介入と反対運動の盛り上がり／七〇年代民主化の新たな高揚へ

- 一一四三 最近の学生運動についての大学の基本的な姿勢
- 一一四四 全共闘(準)結成
- 一一四五 二月一三日の事態について総長訴え
- 一一四六 教職員組合討議資料
- 一一四七 一部学友会執行委員会討議資料
- 一一四八 全学共闘会議準備会の大衆団交開催要求書
- 一一四九 全学生諸君に告ぐ〔寮連合の大衆団交、中川会館封鎖について〕
- 一一五〇 教学部長他六名の委員の声明
- 一一五一 教職員組合執行委員会声明
- 一一五二 全学集会での末川総長の訴え
- 一一五三 立命館大学の全学生教職員に訴える〔立命館大学〕
- 一一五四 大学声明に対する一・二部学友会執行委員会の基本的見解
- 一一五五 大学声明を糾弾〔大学院闘争委員会〕
- 一一五六 大学と寮連合の団交への参加を〔一部学友会執行委員会〕
- 一一五七 全学共闘会議結成宣言
- 一一五八 全立命館人諸君への訴えと願い〔末川博〕

- 一一五九 大衆団交要請書(全学共闘会議々々)
- 一一六〇 存心館、中川会館を占拠する学生に訴え(理事長、総長)
- 一一六一 全共闘結成宣言にみる全共闘の本質とねらい(教職員組合)
- 一一六二 学内(中川会館、存心館)捜査について(総長)
- 一一六三 一部学友会特別声明(学校当局に正常化への要求)
- 一一六四 一〇項目要求と八つの提案(一部学友会執行委員会)
- 一一六五 当面する問題の正しい解決のための一二項目提案(一部学友会)
- 一一六六 総長事務取扱について
- 一一六七 総長の任期満了に伴う方策の件(総長事務取扱)
- 一一六八 全教職員・学生諸君に訴える「全共闘」の存心館占拠、恒心館封鎖について
- 一一六九 総長事務取扱に武藤経済学部長
- 一一七〇 入学式における暴力行為についての大学声明
- 一一七一 告訴問題にあたってすべての教職員・学生に訴える文部次官通達「大学内における正常な秩序維持について」に対する反対声明(立命館大学)
- 一一七三 理工学部四号館封鎖についての大学の訴え
- 一一七四 理工学部四号館封鎖解除について
- 一一七五 創立記念日に向けて 教職員・学生への大学の訴え
- 一一七六 学内理事会声明(全共闘のセクト拠点など)
- 一一七七 府警機動隊の学内進入についての大学声明
- 一一七八 五月二十日の強制捜査(恒心館)についての大学声明
- 一一七九 立命館大学学園民主化第一次改革にあたって――一部二万四千名の共同要求
- 一一八〇 「大学改革のための討議資料その二」発表にあたっての一・二部学友会執行委員会の見解
- 一一八一 「大学の運営に関する臨時措置法案」に反対する声明(各学部教授会)
- 一一八二 大学法案の強行採決に対する抗議声明(全学教授団)
- 一一八三 「大学運営に関する臨時措置法案」強行採決に対する抗議声明(全学教授団)
- 一一八四 「大学の運営に関する臨時措置法」の「施行」にたいする声明(全学教授団)
- 一一八五 新春を迎え全教職員・学生諸君に訴える(総長事務取扱武藤守二)
- 一一八六 立命館大学の目標は何か 父兄母姉のみなさん(総長武藤守二)
- 二 「わだつみ像」の破壊と再建
- 戦没学生の「嘆き」「怒り」「苦悩」の像／「わだつみ像」の破壊と再建への決意／「全共闘」の思想的破綻と像破壊の弁護論・免罪論／「わだつみ像」の再建・再建立 国際平和ミュージアム開館
- 一一八七 全立命戦没学生慰霊祭
- 一一八八 わだつみの像建設の件
- 一一八九 わだつみ像歡迎市中パレード

- 一一九〇 荒神橋・市警本部前事件
- 一一九一 平和の誓い固く(わだつみ像除幕式)
- 一一九二 全共闘のわだつみ像破壊について 学部長・二部協委員長訴え
- 一一九三 「わだつみ像」再建のよびかけ(世話人会)
- 一一九四 第一七回不戦の集い(わだつみ像再建)における「不戦の誓い」
- 一一九五 わだつみ像再建立式典宣言

三 寮問題の解決へ

- 戦後における学寮の開設／初期の寮とその運営／寮運動のはじまりと寮連合／「統一寮運動」と新「学思寮」の建設／「寮問題についての確認事項」――寮の教育的位置づけ／新寮建設後の運営と寮生実態／入寮選考問題と水光熱費不払い問題／寮の一時閉鎖と仮寮／強制捜査・明渡し仮処分／新しい寮の位置づけと旧寮再開／再開された寮とその後

- 一一九六 寮歌
- 一一九七 立命館大学寄宿舎の開設
- 一一九八 立命館大学寄宿舎規程
- 一一九九 立命館大学統一寮則
- 一二〇〇 寮問題についての確認事項
- 一二〇一 寮連合と大学側の議論
- 一二〇二 入寮選考について(お知らせ)
- 一二〇三 大衆団交要求についての大学の回答書
- 一二〇四 寮内における一連の暴力行為に関してすべての学生、教職員に訴える
- 一二〇五 寮連合の光熱費不払い問題と「理事会団交」再開要求について
- 一二〇六 出町寮への強制捜査について
- 一二〇七 寮問題の積極的な打開をはかるために
- 一二〇八 寮問題解決のための当面の措置について
- 一二〇九 寮の一時閉鎖について 告示
- 一二一〇 旧「寮」への強制捜査について
- 一二一一 再び寮問題の解決について全学生・教職員に訴える
- 一二一二 旧「寮」明渡し仮処分の断行にあたって
- 一二一三 「旧寮」不退去者に対する措置について告示
- 一二一四 暴力行為者に対する処分・措置について公示
- 一二一五 学寮の再開にあたって――寮問題の経過と大学の態度

第三節 学園民主化の新しい段階へ

- 一 新たな「大学自治論」――「総長選挙規程」の改正
「大学紛争」の克服と大学改革の転機／総長選挙規程の改正と新総長誕生／新総長選挙規程／大学自治と学生処分制度の改革／大学自治の新展開

二二二六 『学問の自由と大学の自治』〈討議資料〉

二 国民的要請にこたえる教育・研究の改革

中教審等の「大学改革」と教育・研究論／立命館大学の教学改革／教学内容を点検する基本視角／教育・研究と組織運営―その相互関係／教育・研究条件の改善／助手制度の改善と共同研究室体制

二二二七 本学の研究体制に関する答申

二二二八 教学内容点検の基本的視角

二二二九 助手制度の改革(案)

三 公費助成運動の新たな展開

戦後の私立大学と公費助成問題／高度経済成長と「日本型私学の根本矛盾」／「国庫負担にかなう委員会」の発足／教職員組合や学生自治会の運動／『立命館大学教学白書』の作成

二二二〇 国庫助成等に関する五学部教授会声明

二二二一 大幅公費助成の実現要求 各学部教授会、二部協議会声明

補論 戦後民主主義と「立命館民主主義」

―いわゆる末川体制について

末川博の死去／戦後民主主義の高揚と学園／学園民主化に向けて／末川辞任と学園民主化の進展／学園の代表を選ぶ―総長公選制／全学構成員自治の要―全学協議会システム／学内優先の原則―学内理事会の確立と発展／「大衆とともに歩み、考え、学ぶ」―「立命館民主主義」の原点

第四章 立命館学園新展開への始動

はじめに

高度経済成長の終焉／社会構造の人類史的な転換期／教育と大学をめぐる状況の変化／公費助成と私学政策の転換／七〇年代立命館大学の「自主改革」／教学改革と自主的集団的学習／一拠点化を軸にした全学協議会／七〇年代財政構造問題／七九全学協確認と八〇年代への課題／七〇年代の中・高教育実践と長期計画化

第一節 学園体制の新局面

一 「大学紛争」の克服と「自主改革」への模索

新総長選挙規程 武藤守一総長の選出と急逝／細野武男総長の就任と財政・教学の見直し／教学理

念「平和と民主主義」の再確認／衣笠一拠点化と改革への諸課題／学園運営体制の再構築

二二二二 立命館大学の改革についての答申(一拠点、教学、学生規模、管理運営、財政)

二二二三 立命館大学の現状と課題について

二二二四 ふたたび学園の現状と課題について

二 「教学改革」の新たな試み

七〇年代の教学改革課題／小集団教育体系の確立／専門教育のカリキュラム改革／七〇年代の到達点と残された課題

二二二五 立命館大学教学の現状と課題

二二二六 ふたたび立命館大学の現状と課題(その一)

二二二七 ふたたび立命館大学の現状と課題(その二)

三 学生・職員参加の学部長選挙

「新しい自治の観念」と大学の管理運営／「立命館民主体制」と学部段階の在り方／学部長選挙規程の制定と学生・職員参加／学部長選挙の実施

二二二八 立命館大学教員選考基準(一九五四年)

二二二九 立命館大学教員選考基準(一九六一年)

二二三〇 中教審「学園における学生の地位について」に対する声明

二二三一 教授会の民主化に関する件

二二三二 教員任用・昇任規程、教員選考基準(一九六九年)

二二三三 学部長選挙規程の制定にあたって、同規程

四 職員の位置づけと「新しい教職員像」

「大学職員論」の全国的状況／立命館における職員の位置づけ／課長制度の改革／事務体制の再編と職員の位置づけ／私学危機の深化と教職員の役割／教学を支える新しい教職員像／職員職場の民主化と事務体制の整備

二二三四 職員的位置付けと課長の身分制廃止について

二二三五 課長制度の改正について

二二三六 職員定数の検討について

五 全構成員自治と七〇年代の全学協確認

大学自治の新段階／公費助成と財政民主化(七〇年度全学協確認)／私学危機と学生数の適正化(七三年度全学協確認)／新しい大学像・学生像の創造(七五年度全学協確認)／八〇年代以降の長期的課題に向けて(七九年度全学協確認)

二二三七 一九七〇年度全学協議会確認

二二三八 一九七三年度全学協議会確認

- 一二三九 一九七五年度全学協議会確認
一二四〇 一九七九年度全学協議会確認

六 校友会の組織的整備

六〇・七〇年代の学園の発展／戦後卒業生の増大と校友会の整備／校友会の拡大と多様化―朝鮮人同窓会のこと／職域・グループ同窓会の発展／女子校友の増加と組織化／校友会基盤の確立／校友会と学園

七 卒業生の進路・就職状況

―一九四六～八〇年を中心に
戦前と敗戦直後の就職指導・斡旋の体制／体制整備の時代―四六～五四年頃／「青田刈り」の時代―五五～六四年頃／「自由応募」の時代へ―六五～八〇年頃／立命館大学と就職問題

- 一二四一 就職の状況について
一二四二 就職対策について
一二四三 就職課の設置
一二四四 就職状況からみた大学教育の課題

第二節 公費助成・学費問題の新段階と学生諸活動の建

一 公費助成と全学連絡協議会

七〇年度全学協議会と公助連の結成／私学振興助成法と「日本型私学の矛盾」／中教審路線と「国民のための私学づくり」運動／私学助成「曲がり角」論と「全大学の問題を考える力量」の形成

- 一二四五 大幅公費助成実現の教授会声明
一二四六 公費助成の実現のための新入生への訴え
一二四七 公費助成の実現のための全立命人への訴え
一二四八 京都地区私立大学学長懇談会の結成
一二四九 国庫助成に関する全国私立大学教授会連合結成大会宣言

- 一二五〇 「私立学校振興助成法案」にたいする反対声明(学部長)
一二五一 国庫負担に関する委員会規程

二 相対的低学費政策と新学費方式

相対的な低学費の実体化／低学費の定着と矛盾の激化／七〇年度全学協における財政論議―財政民主化の基準と原則／七三年度全学協議会―相対的低学費と学園民主化／七五・七九年度学費論議―相対的低学費「政策」への路程

- 一二五二 立命館大学の現状と課題(一九七五年)
一二五三 八〇年代の学園政策確立のために―立命館大学の

現状と課題

- 一二五四 理事会文書「八〇年代の学園政策確立のために―立命館大学の現状と課題―」についての一部校友会の見解

三 学生実態の変容と自主的・集団的学習活動

学生実態の変化／立命館における学生実態把握／「自主的・集団的」な学習・研究活動／学習関連施設の拡充／自家用車の構内乗り入れ禁止

- 一二五五 学生の実態と教学

- 一二五六 学生(教学)実態把握の中間まとめ(まえがき・目次)
一二五七 学生諸君の自家用車による通学・構内乗り入れ全面禁止について

- 一二五八 「自動車による通学禁止」の措置について

四 暴力追放を軸とした学生運動への統一

立命館における「大学紛争」の特徴と暴力の克服／正常化のなかでの「全共闘」の行動／繰り返される暴力と破壊行動／七〇年代―自主的・民主的改革の始まり／七〇年代―暴力追放へ／「学園から暴力をなくすための確認」

- 一二五九 十月十七日の全共闘学生の暴力行為について

- 一二六〇 最近の事態について(二〇月三〇日以降の「立命狭山共闘」等の暴力・破壊行為)
一二六一 「二月二日F君事件」の事実調査報告の公表にあたって

- 一二六二 学園から暴力をなくすための確認

- 一二六三 基本的人権を侵害し、大学自治を破壊する暴力・破壊行為に対する指導および処分について

五 学寮の変化とセミナーハウス、新学生会館

学生の生活様式・意識の変化と寮生活／蓬萊セミナーハウス／宇多野セミナーハウス／新学生会館／学生会館の管理運営と利用

- 一二六四 学生会館使用規定

- 一二六五 学生会館に関する確認事項

- 一二六六 全寮生及び自動車を所有している寮生諸君へ

- 一二六七 寮政策の抜本的見直しについて

- 一二六八 セミナーハウスの新しい展開に向けて

六 学術・学芸サークルの再生

「大学紛争」と学術文化活動／学術系サークル活動／学芸系サークル活動

七 スポーツ活動の発展

模索する体育会活動／部員数の減少／「大学紛争」と体育会活動／科学的なスポーツ理論による

新たな伝統へ／「大衆化と民主化」をにかけて／
実力の向上へ／体育会OB会の発足／「真の大学
スポーツ創造」をめざして

二二六九 保健体育教育の総括と展望

第三節 学園新展開への始動

一 衣笠一拠点

衣笠一拠点化の視点と射程／一拠点志向から一拠
点実現へ／一拠点による学園政策の総合化／一拠
点実現の長期計画／一拠点の完成と新たな展開へ

二二七〇 一拠点指向方針具体化のための諮問

二二七一 産業社会学部の移転に関する件

二二七二 一拠点をめざして―産業社会学部移転の提起

二二七三 衣笠を中心とする一拠点実現の長期計画について

二二七四 衣笠一拠点実現のための討議資料(学内) 理事会

二二七五 「衣笠一拠点」実現の長期計画について

二二七六 広小路学舎の門を閉じる

二 第二次二部改革

第一次二部改革以降の取組み／第二次二部改革
―二講時制と衣笠への統合／二部責任体制の強
化／八〇年代「社会人教育の形成」へ向けて

二二七七 二部教学の総括―改革以来のまとめ

二二七八 二部教学の責任体制強化について

二二七九 二部教学改革への提起―二部「二講時制」をめぐって―(はじめに)

二二八〇 二部教学の新しい展望―七五年度全学協議会確認 にもとづく二部教学の抜本的改善にむけて

二二八一 新しい二部教学の実現のために―二部二講時制・ 一拠点の具体的方策

三 大学院の充実

大学院改革の歴史的経過のなかで／立命館におけ
る新制大学院の展開と課題／大学院制度の改定／
大学院政策の展開／OD問題と大学院拡充へ

二二八二 「立命館大学大学院協議会」の結成に関する件

二二八三 大学院充実についての基本的考え方

二二八四 大学院研究科の改善の方向

二二八五 大学院専攻増設協議書(社会学専攻ほか)

二二八六 大学院の将来計画にかかわる基本的視点

二二八七 立命館大学大学院の現状と課題

二二八八 大学院文学研究科・理工学研究科博士課程増設協議 書

二二八九 大学院制度を改革

二二九〇 立命館大学大学院改善要綱

二二九一 大学院の危機を突破する八〇年代のOD政策確立に むけて(目次・はじめに)

四 国際学術交流の新展開

七〇年代の国際交流の意義／在外研究と国際交流
の発展／協定に基づく国際学術交流の開始／国際
交流の拡大／学内内容の国際化に向けて

二二九二 立命館大学学外研究員規定

二二九三 立命館大学外国人の入学及びその取扱に関する規定

二二九四 外国人学校卒業生の受験資格承認

二二九五 ソ連邦科学アカデミー東洋学研究所との学術交流協 定

二二九六 国際学術交流委員会設置

二二九七 国際学術交流に関する当面の方針について

二二九八 国際学術交流委員会規程

二二九九 トウールーズ第一社会科学大学との交流協定

五 八〇年代以降の学園規模の新展開へ

七九全学協議と学園規模問題／「緑の学園」構
想と学園規模問題／教学と財政の接点としての予
算定員／第一次長期計画と学園規模問題／第二次
長期計画と学園規模問題／八〇年代およびそれ以
降を展望する学園規模問題

二三〇〇 第三次長期計画に関する答申(学園規模問題につい て)

第四節 立命館中学校・高等学校の教学創造

一 七〇年代の教育実践

中・高教育の基本課題／中・高の一貫教育と中学
入試／高校「文化講座」などの設置／中学におけ
る「読書指導」と「卒業レポート」／修学旅行と
制服の廃止／クラブ活動の活発化をめざして

二 公費助成運動と保護者との共同

戦後の私立中等教育と公費助成／「立命館中・高
公費助成推進四者連絡協議会」の発足／「京都私
立中高公費助成推進連絡会」の結成／保護者と共
同した教育運動と公費助成／条例制定直接請求運
動と八一年度学費問題

二三〇一 公費助成推進四者連絡協議会

三 中・高長期計画の課題と展望

中等教育の大転換期と七〇年代長計答申／七一年
「第一次答申」における課題整理／男女共学・移
転・財政問題の提起―七三年「第二次答申」／
長期計画実現の要点―七四年「第三次答申」／

教育改革論議のなかでの創立七〇周年／七七年
「第四次答申」と全学的討議／八〇年代「学園第
三次長計」による移転・男女共学の実現

一三〇二 中学校・高等学校の教育の現状と改革の諸課題につ
いて〔はじめに〕

一三〇三 中学校・高等学校長期計画答申案〔第二次答申 目
次〕

一三〇四 中学校・高等学校長期計画答申案〔第三次答申 目
次〕

一三〇五 高等学校・中学校長期計画について〔第四次答申
目次〕

一三〇六 第四次答申についての理事会見解

一三〇七 高中教学の改善・充実について

一三〇八 高等学校・中学校の教学改善充実計画の具体化のた
めに〔目次〕

一三〇九 高等学校・中学校教学の改善・充実について〔移転
問題を含む〕

補 「立命館清和会」戦後の歩み

戦後清和会の活動／清和会の活性化に向けて／清
和会の母校への貢献

一三一〇 立命館清和会会則

一三一一 清和会について

おわりに ―八〇年代以降の課題を展望しつつ―

七九全学協確認と「学園創造」の時代へ／八〇年
代およびそれ以降の長期課題へ向けて／立命館学
園創立八〇周年・大学衣笠移転完成記念行事と式
典／八〇年の星霜をのり越え 将来への飛躍を誓
う

一三一二 創立八〇周年・大学衣笠移転完成記念式典

一三一二 学園創立八〇周年記念式典における天野総長の式辞

統 計 （巻末・逆頁）

あとがき